

はぐくみ

少年育成センターだより

令和7年9月1日

第32号

坂出市少年育成センター

坂出市久米町1-18-20

TEL 46-2777

FAX 46-7140



『少年育成センターの活動』

～青少年の健全育成と

非行防止を願って～

補導活動

地区補導員や学校補導教員、少年を守る母の会会員、センター職員などが、市内巡回補導を行っています。

相談活動

子どもたちや保護者の悩みや困ったことについての相談活動を行っています。まずは、「さわやかテレホン」（裏面参照）をご利用ください。

広報啓発活動

万引き防止のための巡回を実施したり非行防止の啓発キャンペーンに参加したりして、非行の未然防止に取り組んでいます。

環境浄化活動

安全・安心な環境づくりのために、危険箇所の発見や不審者情報の収集・発信、白ポストによる有害図書の回収などを行っています。

関係機関等との連携活動

学校や地域、家庭及び関係機関と積極的に情報交換し、実態の把握に努めながら連携した活動を行っています。

青色防犯パトロールカーによる巡回パトロールを、各地域で実施しています。

令和6年度 坂出市の不審者情報です！

不審行動	件数	被害者	時間帯
声かけ	5件	小学生 9人	午後7時頃 午後4時頃
身体接触	2件	小学生 1人 中学生 1人	午後4時頃 午前10時30分頃
無断撮影	2件	小学生 多数	午後1時30分頃 午後3時頃
つきまとい	1件	中学生 1人	午後4時頃

児童たちが登校中、1人の中年男性とすれ違った際、「その学校やろ。先生が手伝ってほしいと言っているので案内してあげる」と、声をかけられる事案が発生しました。児童たちは怪しいと思い、「失礼します」と言い、その場をすぐに立ち去ったので事なきを得ました。

※昨年度と同様、不審者件数は10件です。※登校中や早帰りの下校時の事案も増えています。

補導員委嘱式を開催

坂出市少年育成センター補導員委嘱式が、4月26日（土）、市役所本庁2階大会議室で行われました。地区補導員、行政関係補導員、学校関係補導員、常駐補導員、計90名が新たに委嘱されました。（任期は2年間）

補導員を代表して、市長より委嘱状を金山地区の北愼一さんが受け取りました。

研修会では、坂出警察署生活安全課の藤井佳子氏より「香川県の少年非行について」の講話がありました。刑法犯の少年非行が増えている現状や、SNSを通じて広くつながっていることなどの話をいただきました。

また、育成センターの勝浦所長からは、補導活動の目的や補導員としての心得・補導員の声かけの効果などの説明がありました。青少年の非行未然防止や犯罪抑止につながるよう補導活動に努めます。



★坂出市少年を守る母の会★

5月9日（金）、少年を守る母の会総会が、坂出市教育会館2階大会議室で行われました。母の会会員が21名集まり、昨年度の活動報告や今年度の活動方針について、意見交換をしました。

母の会では今年度もこども園・保育所への親子交流活動を実施し、子どもたちの健やかな成長を見守ります。〈少年を守る母の会会長 尾崎繁子〉



.....「青パト」って、いつごろから？.....

通称「青パト」は、正式には「青色防犯パトロールカー」と呼ばれるもので、その発祥は平成16年にさかのぼります。当時、一般自動車への回転灯装備は、原則として法令で禁止されていました。しかし平成14～15年にかけて全国的に刑法犯の認知件数が戦後最多となったため、道路運送車両法の保安基準が緩和され、自分たちのまちを守るべく、防犯活動を認められた団体が、ボランティアとして自主防犯パトロールカーを持ち、回転灯を装備し一般道をパトロールすることが認められたのです。現在、坂出市内には、育成センターをはじめ、坂出・松山・川津・府中・西庄・加茂・林田の各地域の自主防犯団体「セーフティネット」が、それぞれに「青パト」を持ち、坂出警察署の講習を受けた有志の方々が、地域の特質に合わせて定期的にパトロールを行っています。「青パト」を見かけたときは、どうか地域の安全・安心のために頑張っているパトロール隊員への応援や情報提供などのご協力をよろしくお願いします。

～各地区・校区町民会議の取り組み～

坂出市青少年健全育成市民会議

会長 北 慎一



「いかにのすし」とは、怪しい人に対して「(ついて) いかない (車に) 乗らない、大声を出す、すぐに逃げる、(誰かに) しらせる」の頭文字を取った標語・合言葉です。

坂出市青少年健全育成市民会議では、「いかにのすし」看板を、校舎前や不審者などが出没する危険性がある通学路などに設置し、園児・児童・生徒に注意を喚起しています。

「おや子で学ぼう！いかにのすしで、毎日安全」は最低限の知識です。親や先生などがいつも一緒にいられるわけではないので、子どもたちにある程度自分自身で身を守れるように、知識を知らせておく必要があります。どのようなときに危険が迫っているかについて考えさせることが大切です。

東部校区青少年健全育成会議

会長 鳥飼 年幸

地域の秋祭りと青少年健全育成の関わりについて、ご報告します。北新通太鼓台では、9月土曜デーに市内の子どもたちを対象に、旧市内の祭りの歴史と太鼓台の各部分名称を伝え、また、坂出のかけ声とともに担ぎあげてもらっています。先人が築いた祭り文化を後世に伝えていこうという思いで続けてまいりましたが、コロナ以降は中止になっています。



10月14日は坂出八幡神社にて安全祈願祭、

第3土日は宵宮と神輿渡御、そして、10月24日は鹽竈神社秋季例大祭で太鼓の奉納を執り行っています。お祭りを通して子どもたちに坂出の伝統文化の継承と青少年の健全育成に取り組んでいます。



松山地区青少年健全育成町民会議

会長 要 昭夫

私たちは松山地区の子どもの健全な成長を見守り、関係団体の協力のもと、安全・安心できる地域づくりに努めています。



活動としましては、青色防犯パトロール、危険箇所の点検、そして地区文化祭における子どもたちの餅つき体験や三世代によるペタンク大会、また親子での手作り教室を行い、地域の大人と子どもたちとのふれあいを大切にしております。



子どもの明るい声が広がることが地域に元気を与え、明るくしていることを、私たちは大切に守りたいと思っています。

～高額バイト・お小遣い稼ぎのつもりが思わぬ事態に!～

T君が卒業生のSNSを見ていたら、先輩の知り合いが投稿した「高額バイト」情報が…。

連絡してみたら、「荷物を受け取るだけ」の簡単な仕事で、高校生でもOKとのことだった。指示された場所まで行ったら、警察官に職務質問されたT君。オレオレ詐欺の片棒を担がされていたことが分かり、警察へ連れていかれた。

SNSに投稿されたアルバイト情報の中には、犯罪の手伝いをさせられるなど、危険なものも潜んでいます。怪しげな情報にだまされないために、気をつけたいことは？

うまい話にはウラがある

SNSなどの人づて情報や個人的な仕事は要注意！社名や団体名がなければ応募しない。

詳しくは直接やり取りで?!

他者から見えない、直接やり取りできる方法を指示されたら危険！連絡を取らず思いとどまりましょう。

怪しいバイトへの登録はNG

仕事に必要なだからと登録したあなたの個人情報、犯罪者に渡り、脅迫の材料になるのです。

オレオレ詐欺など特殊詐欺の検挙人員のうち約2割が少年

警視庁『令和5年度における特殊詐欺の認知・検挙状況等について』によれば特殊詐欺での少年の検挙人員は446人。被害者からお金を受け取る「受け子」として検挙された人の中でも5人に1人が少年となっています。受け子の報酬は中高生には高額でも、詐欺や犯罪グループにとっては、だましとった金額のごく一部。捕まっても困らない使い捨てのコマとして、都合よく利用されるだけなのが現実です。中には、自宅を知られ、家族への危害を恐れて抜け出せなくなってしまったケースもあるそうです。

犯罪者となって将来を台無しにするようなことにならないよう、気をつけましょう。

(参考) 総務省「インターネットトラブル事例集」2024・2025年版より

さわやか テシホン

友達関係・いじめ・不登校・心や身体の悩み・学習・家族関係・発達・ひきこもり・SNSのトラブルなど…。

こま ひとり なや しょうねん
困ったときは一人で悩まないで、少年
いくせい 育成センターにご相談ください。秘密
げんしゅ は厳守します。

※専門相談員が、いろいろな相談に応じています。保護者・児童・生徒、どなたでも相談OKです。

(電話相談・来所相談・メール相談)

電 話：0877-46-2777

来 所：坂出市少年育成センター
(坂出市教育会館内)

時 間：10:00～17:00

メール: ikusei@city.sakaide.lg.jp

No! DRUG

時は戻せない、残るのは後悔だけ

大麻は危険で違法な薬物です。持っているだけで犯罪です。大麻にも依存性があり、特に若い人は脳へのダメージが非常に大きく、記憶力低下や幻覚症状などを引き起こすことも。身近な人やSNSの「誤った情報」に惑わされていませんか…？あなた自身で「薬物の真実」を知ってください。



違法薬物の誘いを“断るヒント”

アイメッセージ

「私は大麻を使いたくない」

「私は薬物を使わないって決めているから」

薬物の誘いを避けるためには「きっぱり断り、すぐにその場を立ち去ること」が基本ですが、相手に強く言いにくいときは「アイメッセージ」が役に立ちます。アイメッセージとは自分の思いを相手に伝えるときに「私」を主語にする方法です。自分の感情を相手に伝え、判断は相手に任せるため、**相手を否定せずに伝えやすい断り方**と言えます。



(「香川県・香川県薬物乱用対策推進本部」資料より)